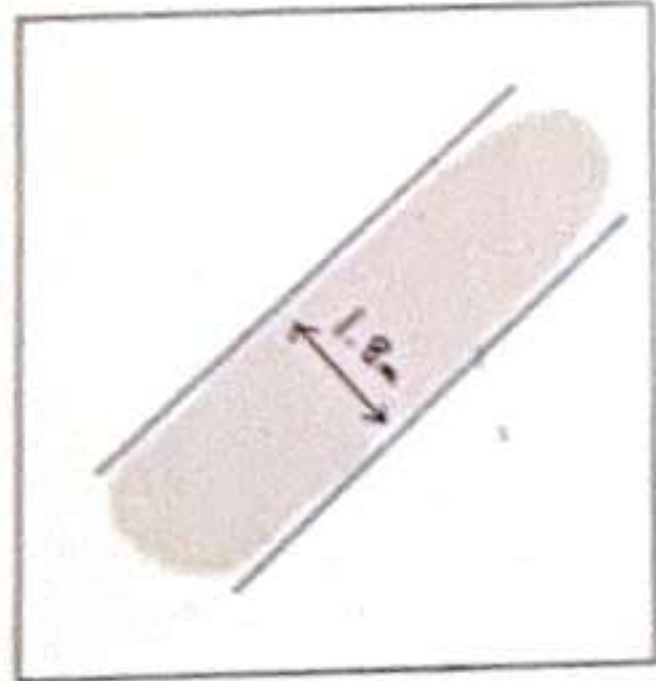
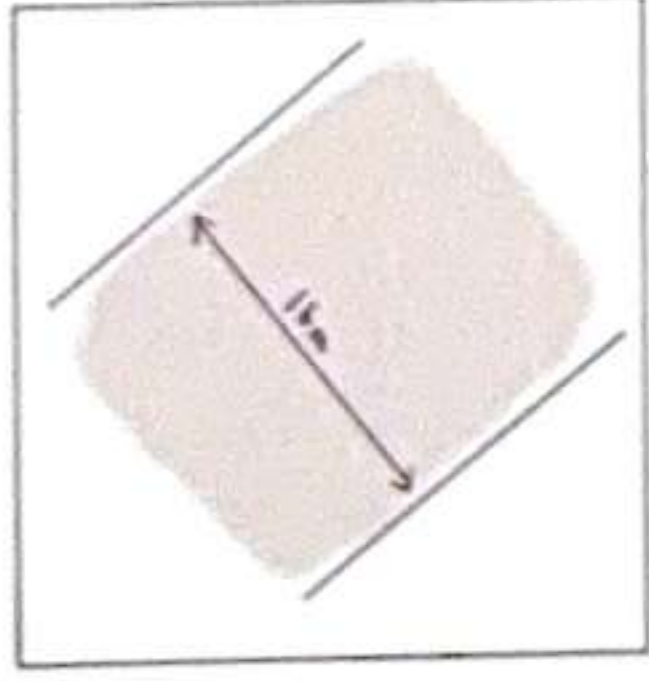


すずなり通り



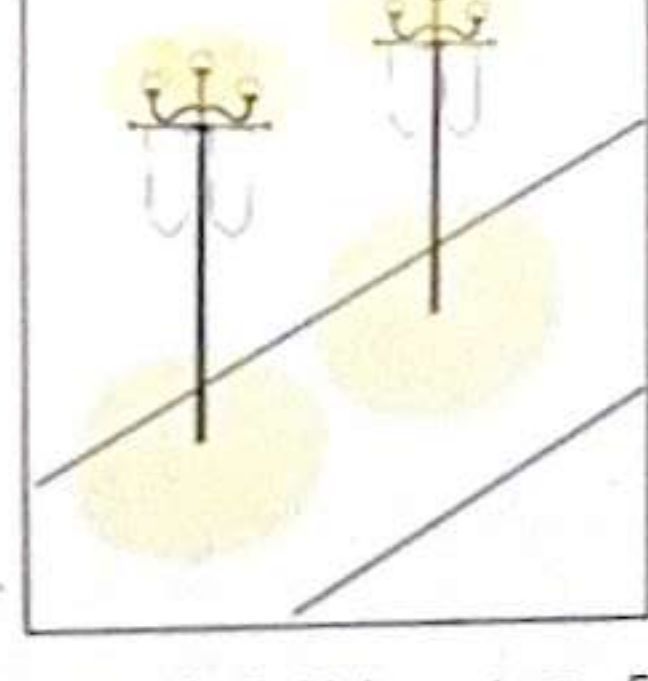
幅1.8メートルの能動として開通



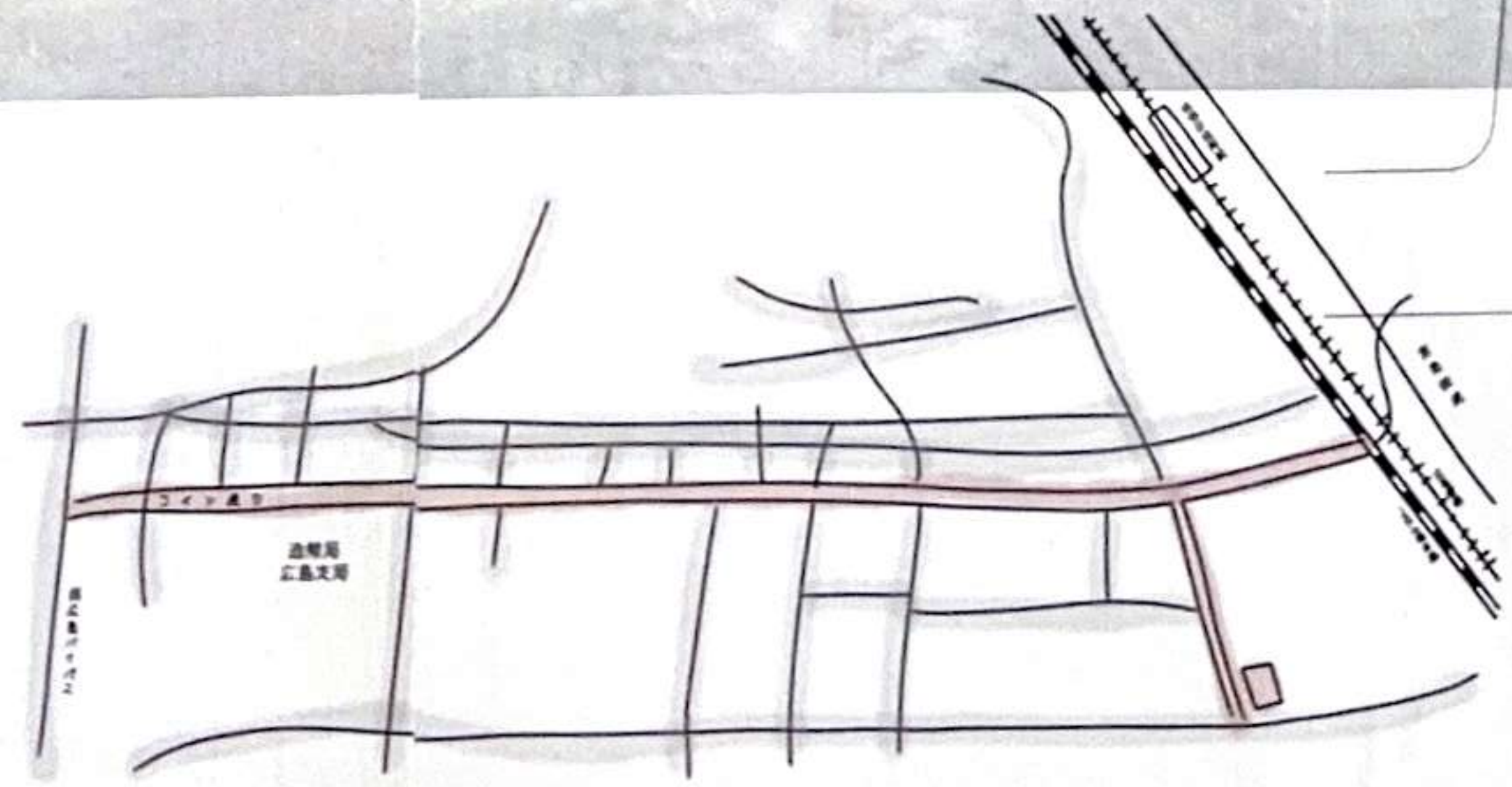
歩道3メートル車道10メートルの五日市商店街の基盤が完成



当時のコイン通りは夜になると暗く、通りから数10mの家から子供を一人で出すのも危険な状態であった



昭和57年街路灯である「すずらん灯」が完成し、夜が暗く不評だったコイン通りが賑やかな通りへと変し、発展の象徴となった

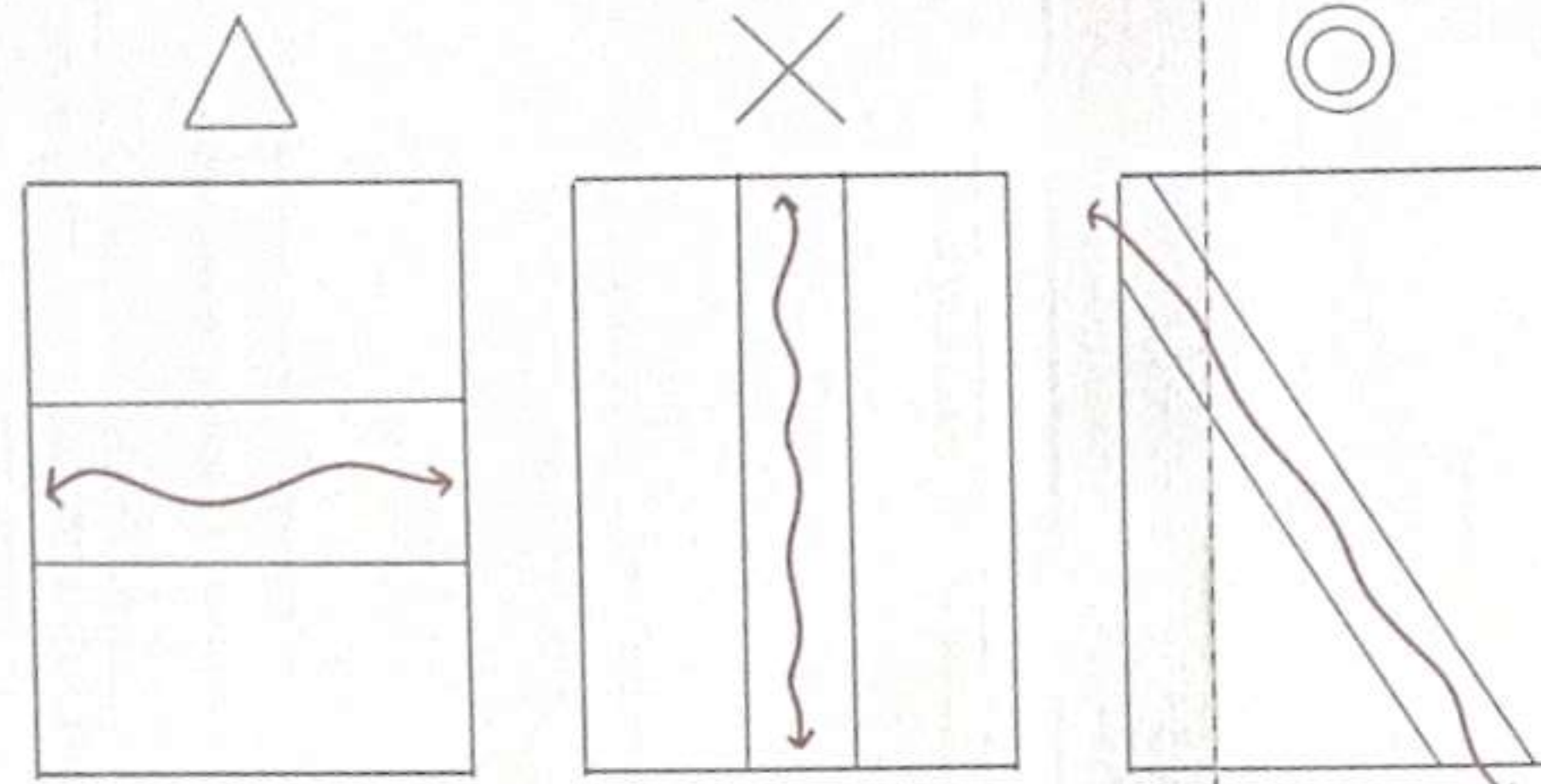


実際のコイン通りの2分の1の8メートルのメイン通り



設計趣旨

この敷地に人の流れを生み出すために、地域のシンボルであるコイン通りに着目した。かつてその発展のきっかけとなった「すずらん灯」を、この場所に再び設け、人々の交流の灯として新たな賑わいを生み出すことを目指す。計画では、コイン通りに対して斜め方向に幅8メートルのメイン通りを通し、その中心にコイン通り発展の灯であるすずらん灯を設置した。灯の両側には店舗を並べ、その上部に住宅を配置している。さらに、通りの奥には、路地に入った先のような落ち着いた住宅群を展開した。店舗にはコイン通りにはない新しい業種を取り入れ、世代を超えて人々が交流できる場とした。かつてのすずらん灯が街の発展を導いたように、今度は人々の交流の灯で、この通りを再び賑わいのある場所へと生まれ変わらせることを目指す。



コイン通りとつながるが、横方向だけで縦のつながりが生まれない

コイン通りの流れとつながらない

コイン通りから川沿いへとつながり、その先の展開へ

まちのリビング

多世代が交流できる空間で、地域の人に「居場所・たまり場」を提供する「イベントの提供」を行い、ここを中心にこの通りからコイン通りまで賑わいを広げる



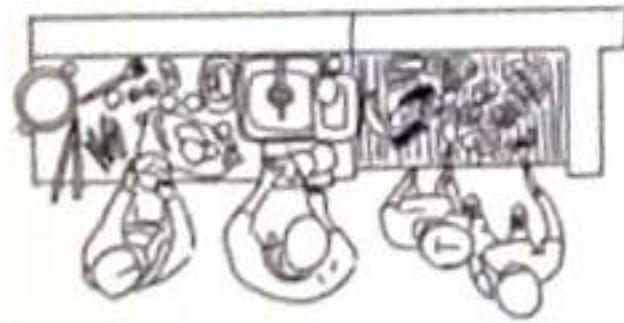
まちの寺子屋

単に勉強を教えるのではなく、子供たちの教育や学習を地域全体で見守る大人も子供も一緒に楽しめる



地域食堂

子供、保護者、お年寄り、一人暮らし、学生すべての人が利用でき、個食やフードロスの削減につながるフードバンクや地域住民からの寄付で運営される

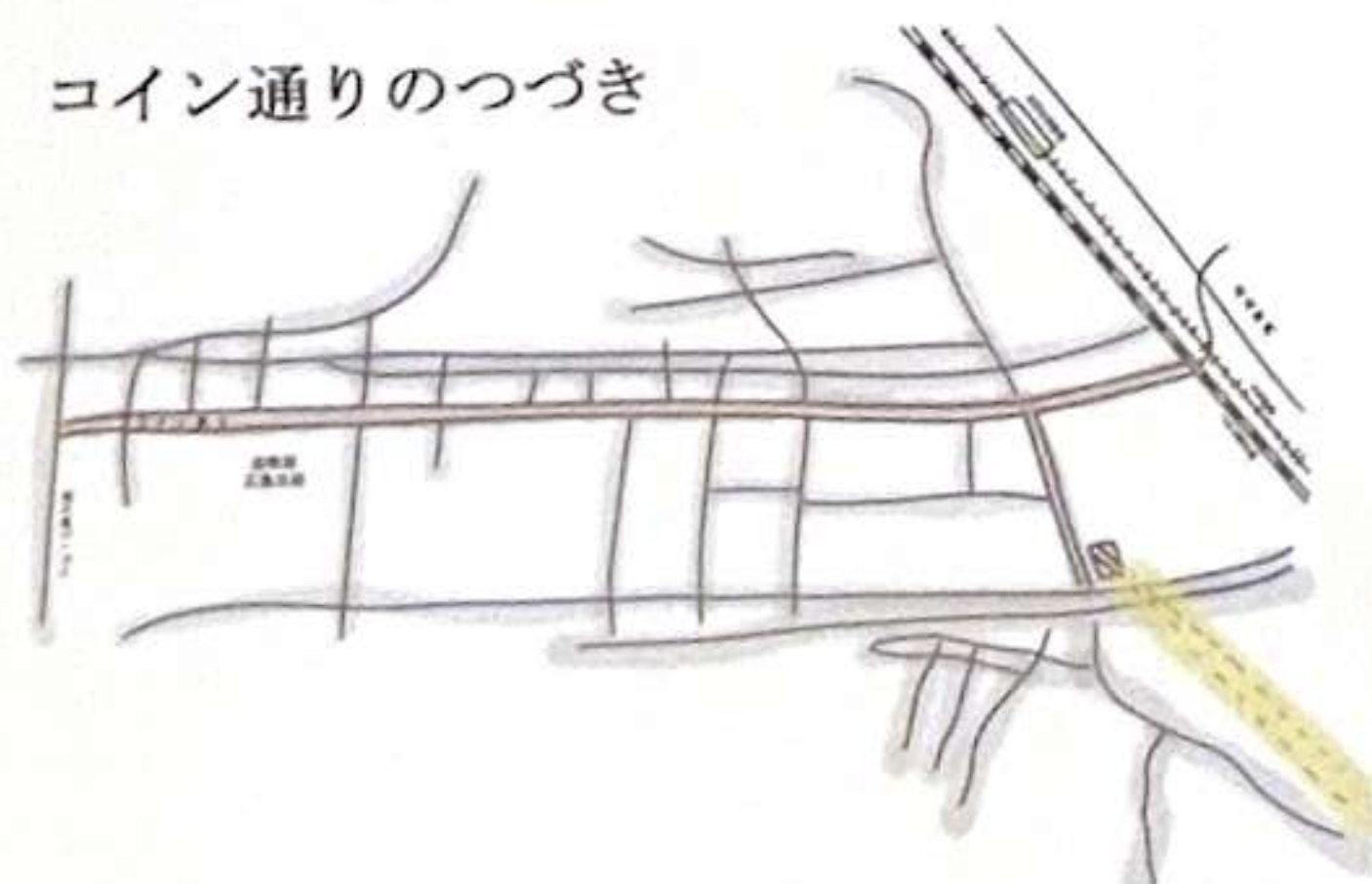


まちのライブラリー

地域の人で本を持ち寄って図書館を作る大人も子供も、使っていない本、お気に入りの本を持ち寄って借りたり貸したり「本」を通じて「人」と出会う



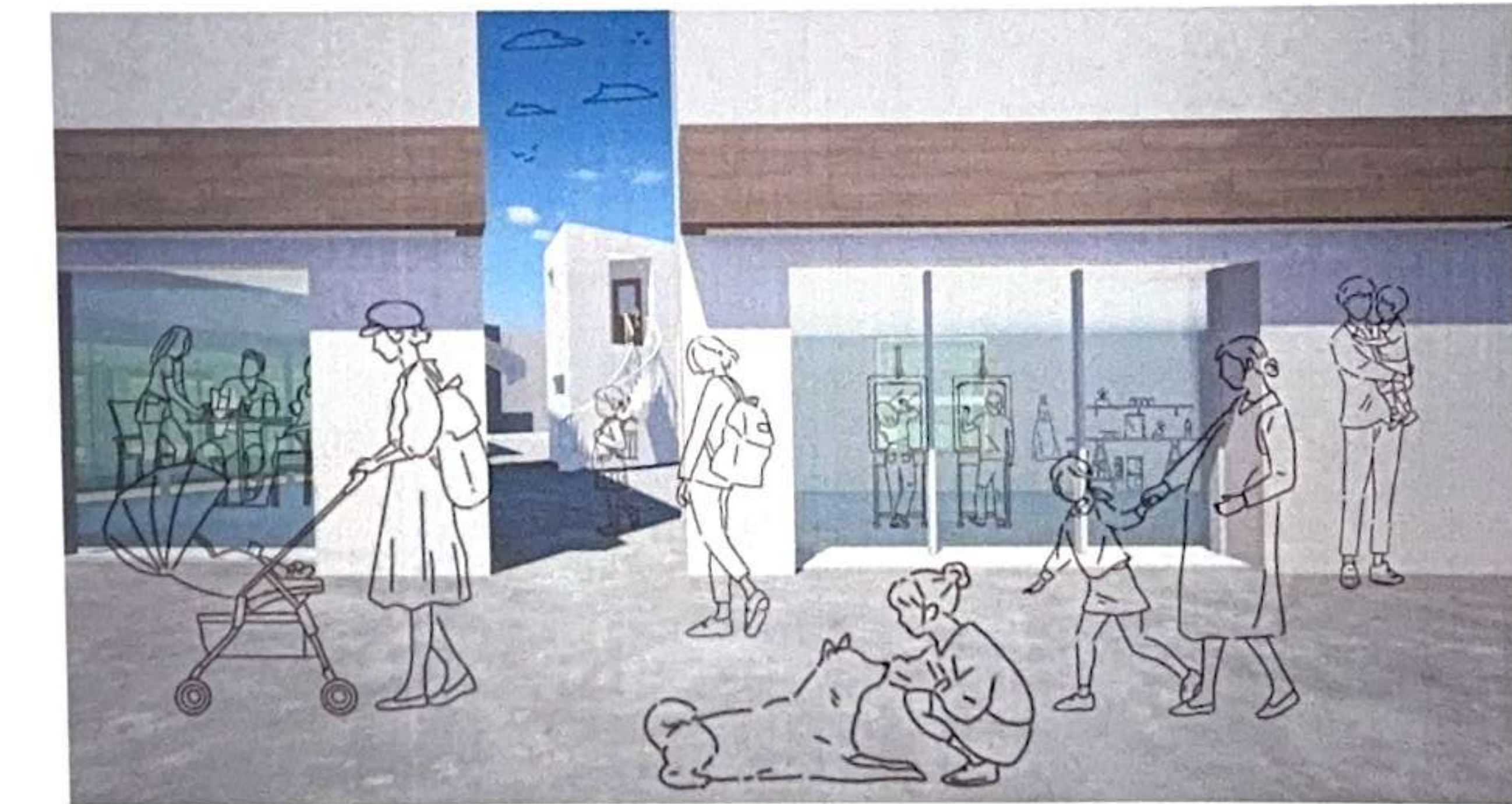
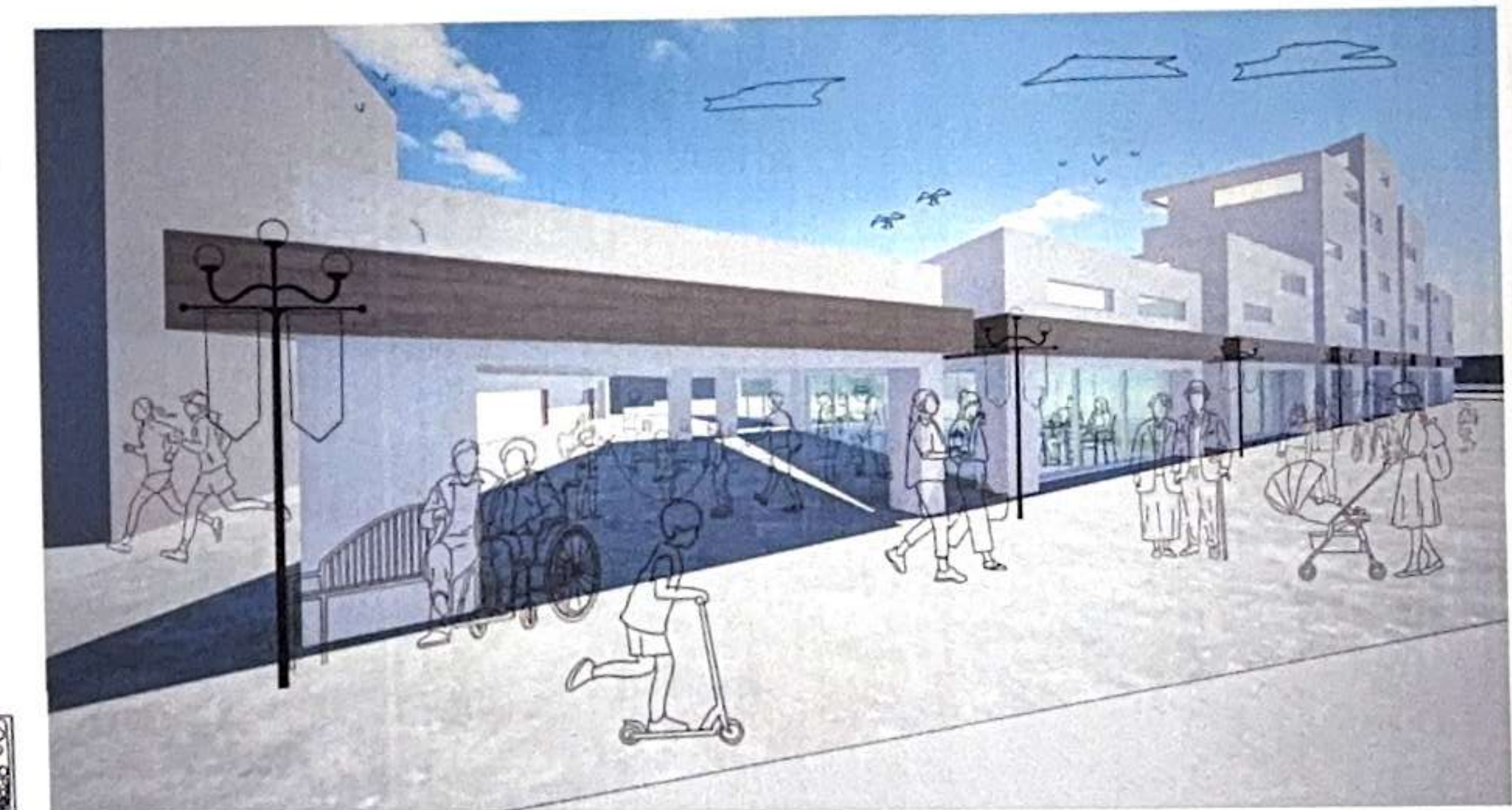
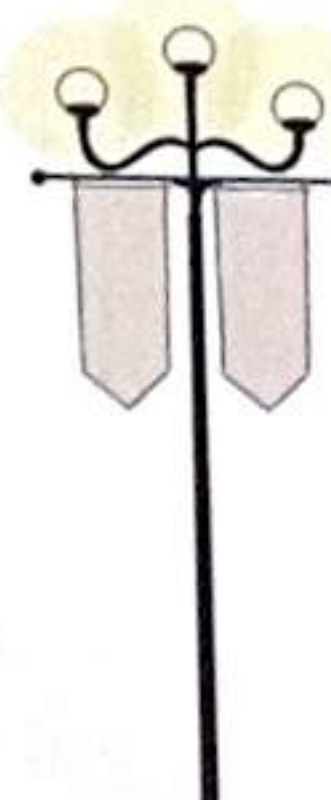
コイン通りのつづき

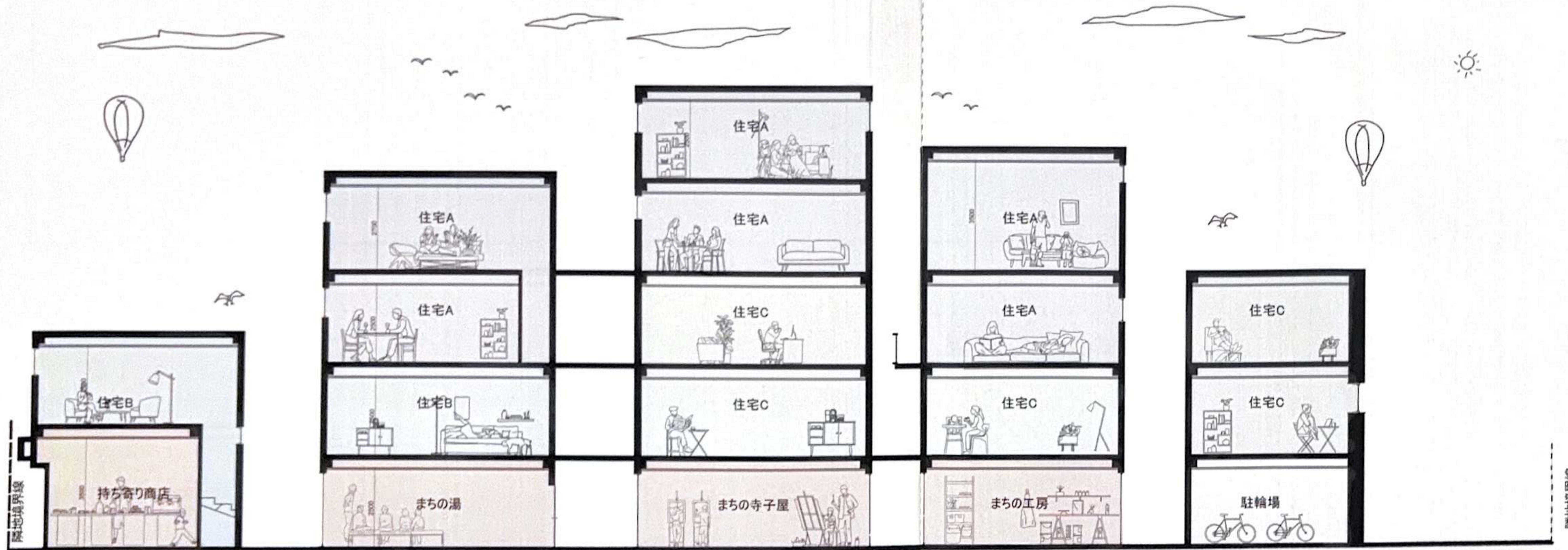


コイン通りは敷地前の橋のところで終わってしまっている。

そのつづきを作る。現在のコイン通りの延長線上に作るのではなく、すずらん通りの、斜めに振った道から新たな通りが生まれ。

この集合住宅自体が、「すずらん灯」の役割を果たし、新たなコイン通りが生まれ、地域の発展のきっかけとなる





断面図 A-A' S=1:100

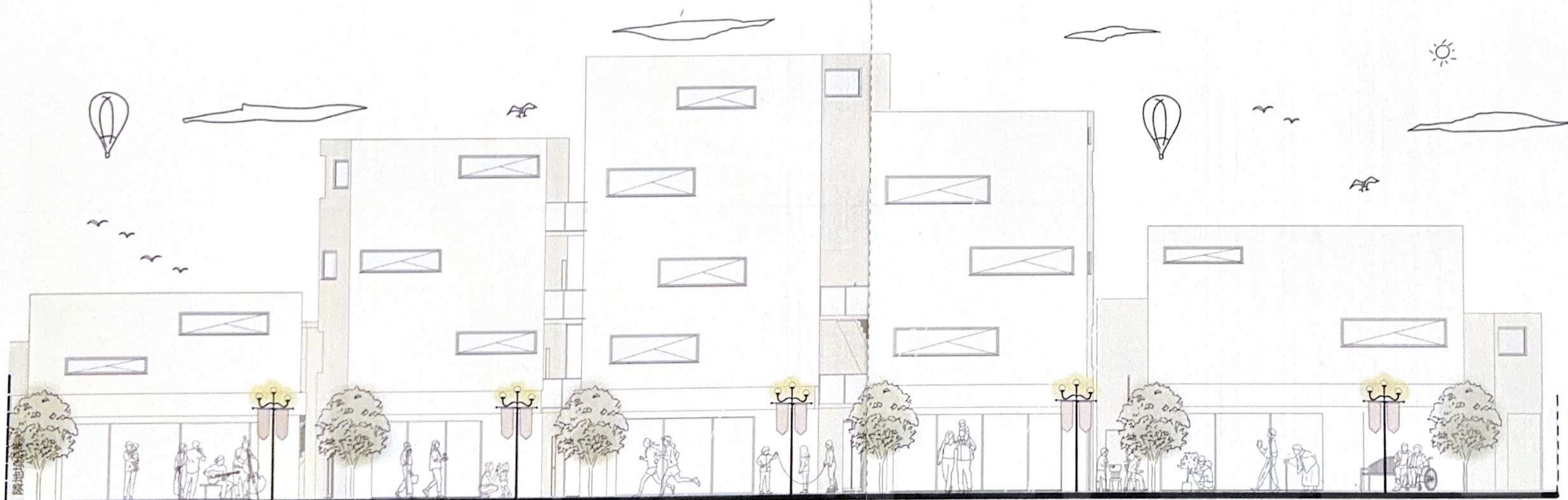
面積表

集合住宅

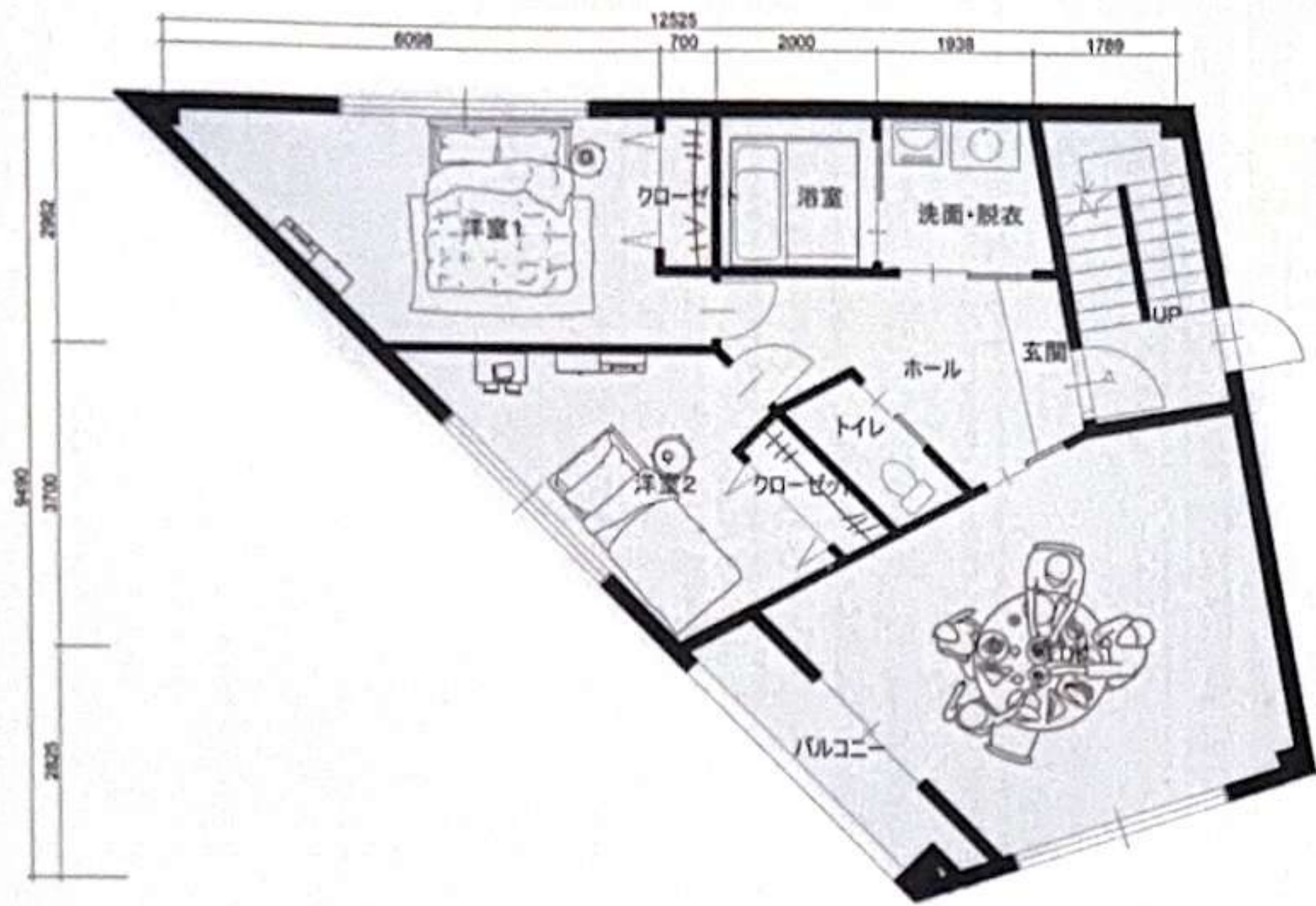
| | |
|-------|----------|
| 1階床面積 | 525.11㎡ |
| 2階床面積 | 542.61㎡ |
| 3階床面積 | 204.57㎡ |
| 4階床面積 | 108.95㎡ |
| 5階床面積 | 37.13㎡ |
| 延べ床面積 | 1418.37㎡ |
| 建築面積 | 542.61㎡ |
| 建ぺい率 | 85% |
| 容積率 | 224% |
| 敷地面積 | 632㎡ |

集会場

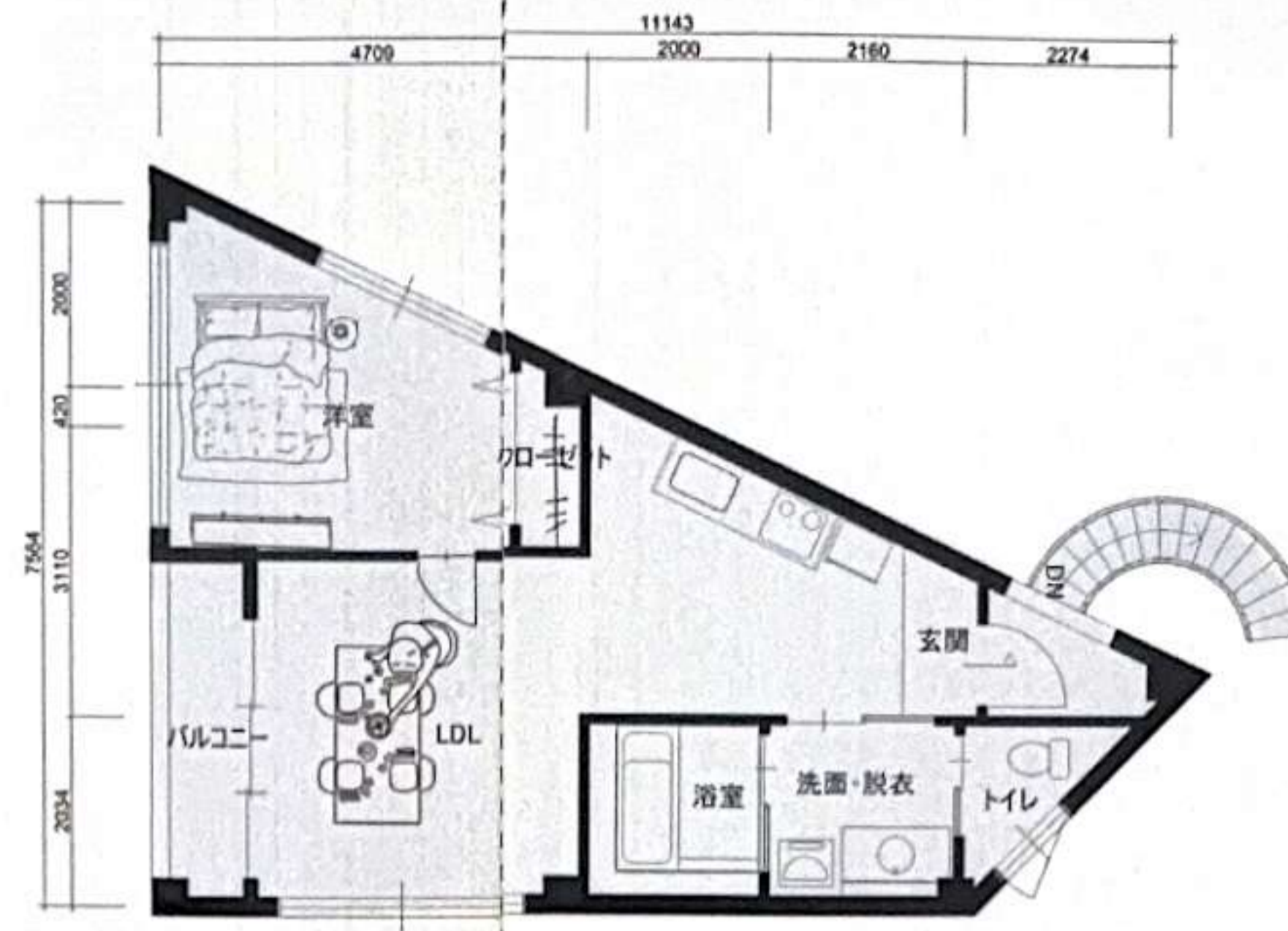
| | |
|-------|---------|
| 1階床面積 | 151.27㎡ |
| 延べ床面積 | 151.27㎡ |
| 建築面積 | 151.27㎡ |
| 敷地面積 | 18% |
| 建ぺい率 | 18% |
| 容積率 | 816㎡ |



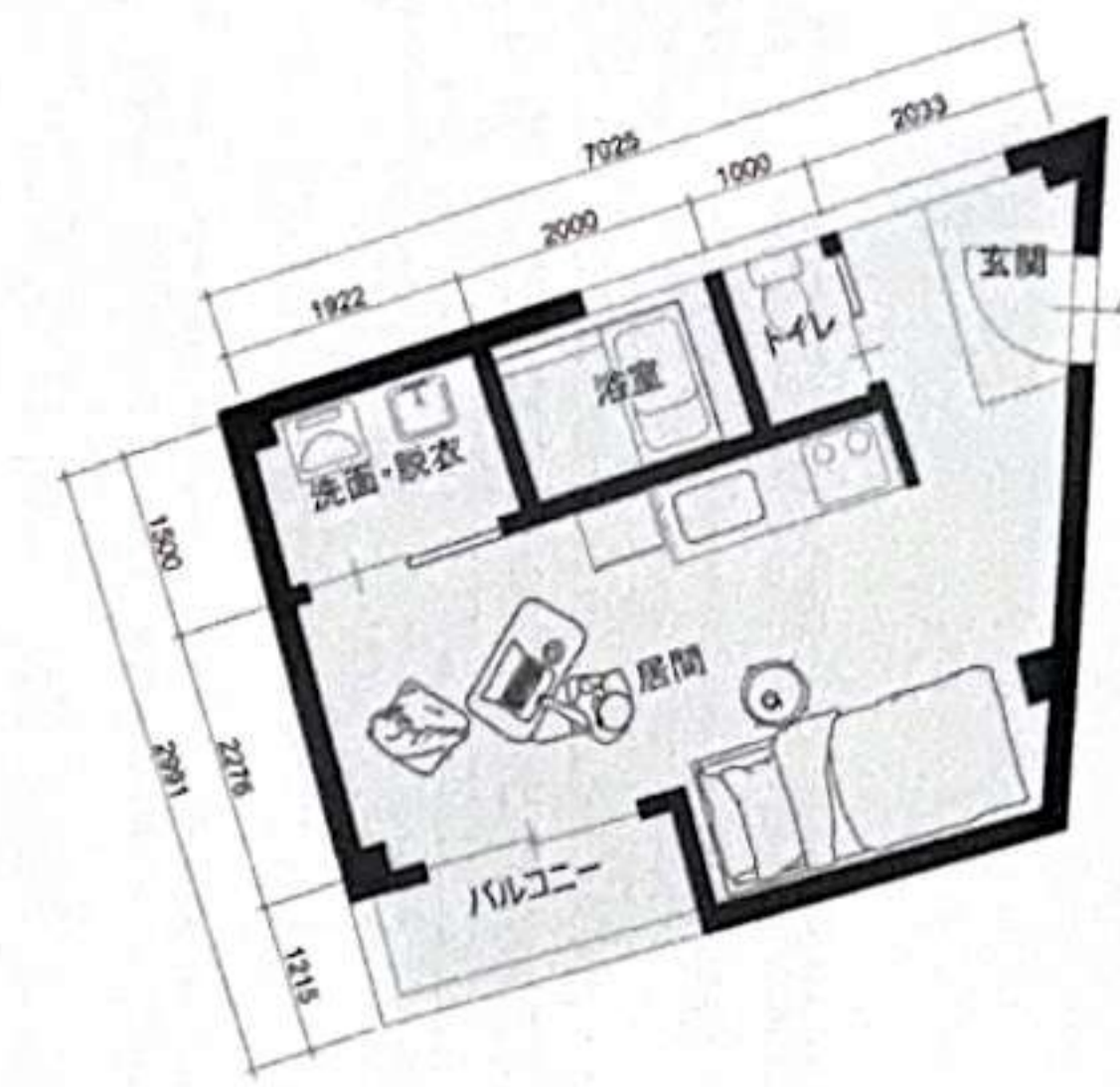
北西立面図 s=1:100



住戸A S=1.100



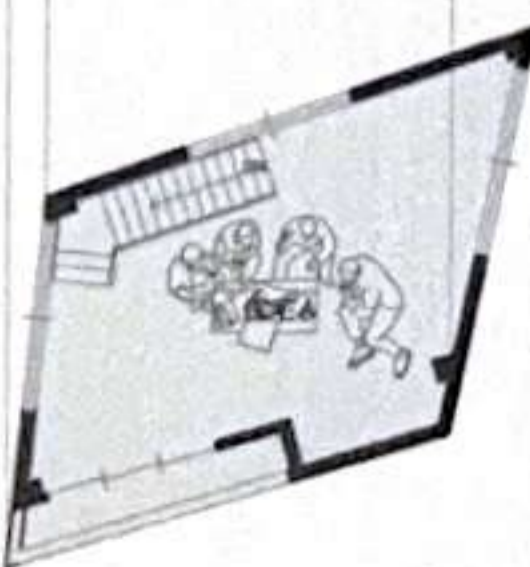
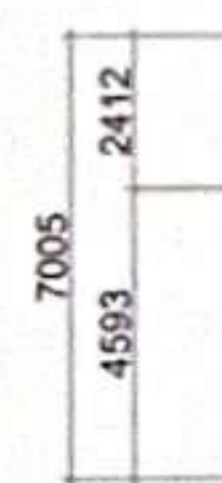
住戸B S=1.100



住戸C S=1.100



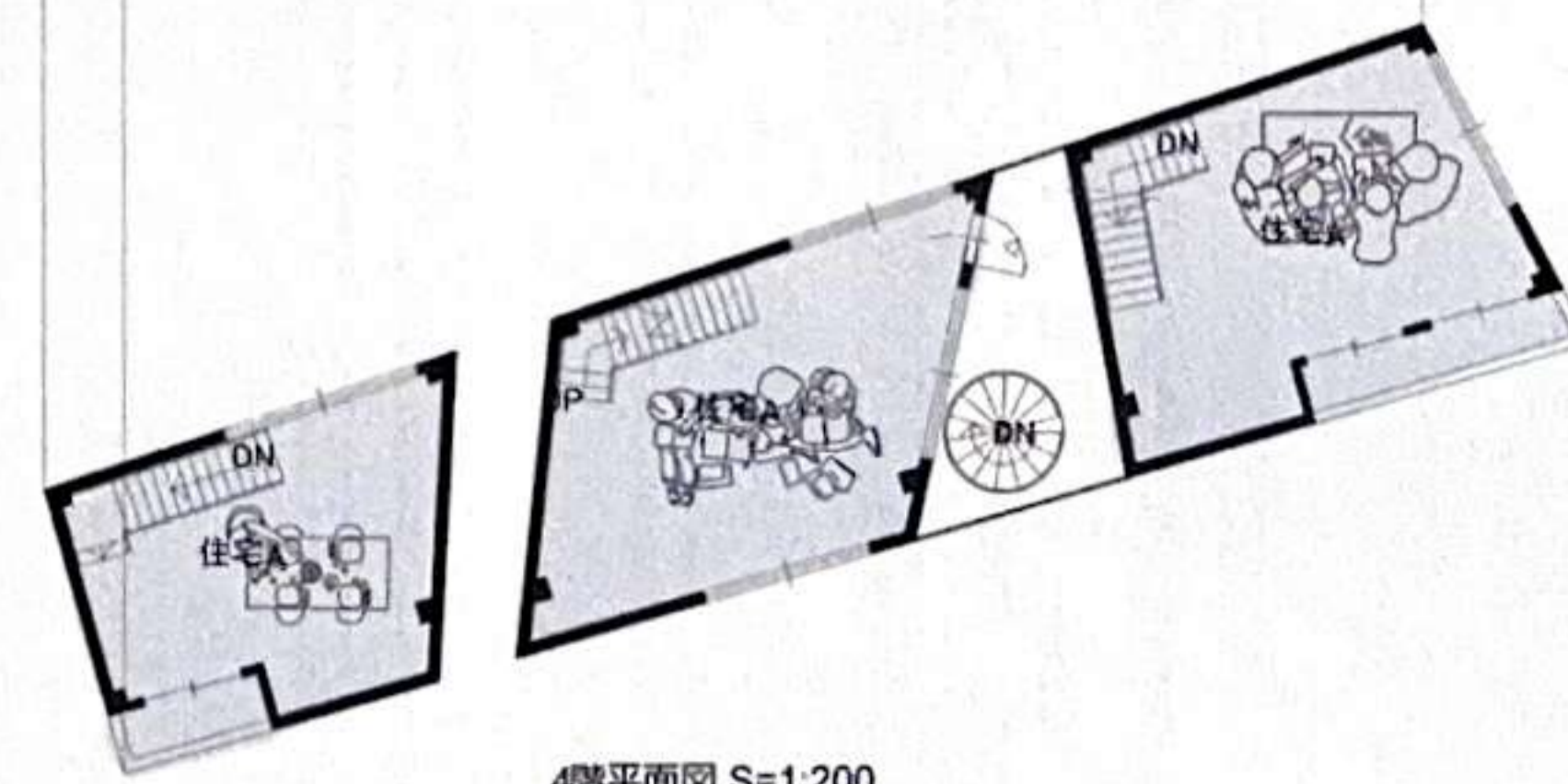
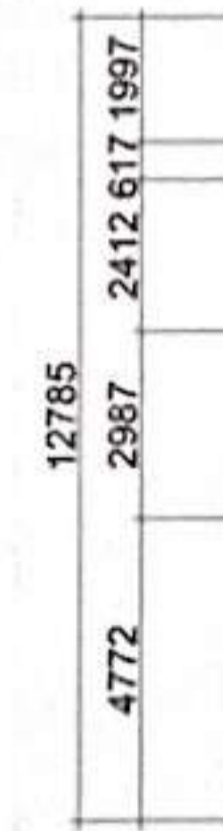
2階平面図 S=1.200



5階平面図 S=1.200



3階平面図 S=1.200



4階平面図 S=1.200

